

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた検討状況報告）
日 時	平成30年6月25日（月曜）13時30分～17時00分
場 所	大阪市役所本庁舎5階 秘書担当会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与・山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長・広報担当長代理 外4名） 副首都推進局（戦略調整担当課長・戦略調整担当課長代理 外5名）
論 点	・ 大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルサイネージ上のロゴについて、大阪市政を親しみあるものというアプローチもない訳ではないが、市政の根幹は、誠実、信頼感であり、そこをアピールし続けることが長い目で見た時には良いかもしれない。市としてどのようなイメージを作っていきたいかを考えたうえで、その手法としてロゴを使うべき。相対的にロゴの価値は下落している中で必要かも含め、時間をかけて考える必要がある。デジタルサイネージのフォーマットについては、トライアルアンドエラーで開発していくべきもの。広報紙と同様に縦の帯でカテゴリ分けをした背景にコンテンツをデザインしていく形で試してみるのが良い。 ・ 広報紙「大阪市民のみなさんへ」のフォーマットについて、カテゴリの文字の入れ方には修正が必要。文字を縦書き、白抜き文字、若干大きめにしてはどうか。カテゴリの帯と記事本文の色合いは、若干色調を変えると見栄えが良くなる。 ・ 大都市制度に関する広報について、説明が過多。文字で確実に伝えるというコミュニケーションで考えていて、それを広報紙に置き換えているから起きる。見る側はそこまで考えないので、一番大事なことを立てる方が意図が伝わる。また、動画について、吹き込んでいる声に元気がないので、改善が必要。この動画をどこに流してどの程度のことを伝えたいのかというのが先にあるはず。それを考えたときに情報を欲張りすぎではないか。ポスターについては、訴求が弱かったのならデザインを変えた方が良いかもしれないが、ただ変えるなら変える意味をきちんと決めて変えないといけない。 ・ 新たな戦略的広報企画の方向性について、了承。
結 論	・ 本日の助言を踏まえ、各種広報媒体の見直し及び新たな広報企画等の検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当